

# 米原歴史史街道

米原市の歴史・文化財を歩く 148

## 縄文人の楽園・まいばら③ ―山間部への進出―

### 竪穴住居跡の発見

市内山間部の遺跡では、縄文時代中頃(約四千年前)の竪穴住居跡が見つかっています。竪穴住居は、地面を数十センチメートル掘り下げ、木の柱を立てて、上屋で覆う構造です。

番の面遺跡(梓河内)は、霊仙山と清滝山に挟まれた狭い谷あいの台地上にあります。昭和二十九年(一九五四)、畑の開墾で縄文土器の破片三十数個が出土し、翌年、京都学芸大学(現京都教育大学)が発掘調査を行いました。そして、近畿地方で初めて縄文時代の竪穴住居跡が見つかり、一躍有名になりました。住居跡の床面は地表から約八十センチメートル下で見つかり、平面形は四角形で、一辺の長さは約四メートルです。四隅に柱跡があり、真ん中に地面を皿状に掘りくぼめた、炊事をするための炉が作られています。

縄文時代中期は、長野県の八ヶ岳山麓や岐阜県飛騨地方で爆発的に遺跡の数が増え、縄文文化の中心は中部高地にありました。番の面遺跡は、東からの文化の入り口にあたり、四つの柱をもつ

方形のプランは、長野県などの住居跡の影響が見られます。出土した土器も東日本的なもので、信濃・飛騨・美濃との文化的交流をもとに成立していることが分かりました。また、近くに石器の石材となるチャートの原産地があり、多量の石鏃(矢じり)が出土していることから、石鏃を作って周辺の集落に供給していた村のようです。

起し又遺跡(曲谷)は、姉川の最上流域の支流である起し又川がつくり出した標高約四二五メートルの段丘上に営まれた遺跡です。発掘調査で、直径約五メートルの円形の住居跡をはじめ、五棟の竪穴住居跡が見つかりました。起し又遺跡は、県内の縄文遺跡の中でも飛び抜けて高い立地にあります。このような山間部で定住生活がかがえる遺跡が見つかったこと自体、貴重な調査事例となりました。また、柱状の石を添えて土器を埋めたお墓や、石を丸く並べた祀りの跡など、縄文時代の精神文化をうかがわせる遺構群が発見されました。出土した土器には、東海・中部・西関東や近畿・瀬戸内の土器が混じり、山中の峠道

を利用した活発な交流の拠点となった集落の一つだと考えられます。

### 縄文の技術革新

起し又遺跡の竪穴住居跡から見つかった炉跡は、煮炊きするために、土器を置く区画と、灰をためる区画を合わせた複式の石囲い炉です。灰はトチの実やドングリのアク抜きに使いました。アク抜き技術の開発により、山にたくさんあるのに、それまで食べることでできなかったアクの強い木の実が食べられるようになりました。また、杉沢遺跡(杉澤)で見つかったような貯蔵穴に木の実を保存することで、春から夏にかけても利用できるようになりました。さらに、起し又遺跡からは、石錘とよばれる漁網の石の重りがたくさん出土していて、素早い溪流魚を網で取っていたことが分かりました。木の実を加工したり、貯蔵したりする技術や、網を使った漁労技術の確立が、山間の縄文集落を支えています。

(歴史文化財保護課)



▲番の面遺跡竪穴住居跡



▲起し又遺跡竪穴住居跡

## 消費生活相談コーナー

### 電気代が安くなるって、本当？

「電気代が今より安くなりますよ」「電気料金の明細を見せてください」「どのくらい使っていますか」などと電話で言われ、電気の契約の切り替えを勧められた。本当に安くなるのだろうか…



### 消費生活相談員より一言

電力会社を名乗っていても、業者名や担当者、連絡先等を確認しましょう。また、現在契約している電力会社にも問い合わせ、必要がないならきっぱりと断りましょう。

「おかしいな」と思ったら  
一人で悩まず、  
まずは消費生活相談窓口へ  
ご相談ください。

市 消費生活相談窓口 (米原庁舎)

相談専用 ☎52-8088

【受付】平日9時30分～16時



## 【米原警察署情報】 問 米原警察署 ☎52-0110

### 市内で盗難事件が発生しています！

今年に入り、市内でも民家や事務所での泥棒被害や、車上狙いの被害が連続で発生しており、多くが無施錠の状態被害に遭っています。

### 泥棒や車上狙いの被害に遭わないために

自宅では… 短時間の外出や、就寝時にも必ず施錠を！

車では… 少し離れる時でも施錠し、貴重品は置いたままにしない！

民家や車の回りをうろつくなど、不審な人物を見掛けたら、迷わず110番または米原警察署へ通報してください。



### 令和元年市内交通事故数(7月末時点)

件数 55件(+1件)、死者 2人(+2人)

傷者 73人(+2人)

※( )内は前年比